

土台を後から水平にできるため 上棟後の作業を大幅に合理化

木造軸組工法では、機械プレカット化や根太レス工法の普及とともに基礎の不陸がそのまま建物精度に影響し、サッシや住宅設備機器類などの設置の際も調整が必要となる。

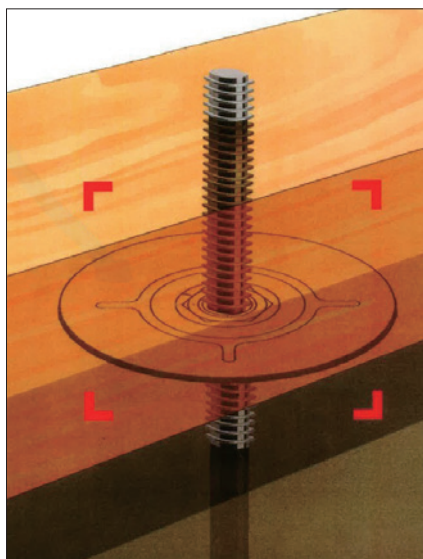
本製品は、土台敷設前にアンカーボルトに取り付けておく（1m間隔で並ぶアンカー全てに設置）ことで、土台を後から水平にすることができる調整金具。金具に付いているナットを回転させ上下に動かすことで、土台の高さ誤差を1mm以内にすることができる。

上棟後の再計測や微調整の手間を大幅に軽減でき、工期短縮やコスト低減を実現する。

・岐阜大学との共同研究（特許第5296397号）

【特長】

- ①土台の水平精度をスピーディーかつ確実に確保できる。
- ②水平精度の向上により、サッシ・建具や各種住設機器などの設置作業が1/2～1/3に低減され、工期やコストも縮減する。
- ③建物全体の精度が大幅に向上する。
- ④サイディングプレカットに最適で、板金工事でも合理化する。
- ⑤地震などでの狂い修正やリフォーム時の土台高さ調整が容易。
- ⑥専用工具は不要で、スパナ（M12用）一本で調整可能。
- ⑦表面処理は環境にやさしい「電気亜鉛めっき三価クロメート処理」を採用。



取付イメージ図

■製品写真



床ピタの施工には
専用の長ネジアン
カーが必要。
(Zマーク認定品)
※左：120角用
右：105角用